

UTグループ

2010年3月期決算

説明会資料

UTホールディングス株式会社
代表取締役社長兼CEO 若山 陽一

2010年5月17日

目 次

■ 2010年3月期 本決算

Section 1 連結決算報告

Section 2 2010年3月期 連結業績予想との差異

Section 3 2011年3月期 連結業績予想・配当予想

Section 4 各事業の報告

■ 参考資料

Section 1 派遣法改正の動向

Section 2 UTグループ概要

Section 3 **Growth 2012**

2010年3月期第4四半期 連結決算サマリー

	2010年3月期第4四半期 連結決算のポイント
事業内容 (アウトソーシング事業 : 日本エイム)	<ul style="list-style-type: none"> • 利益創出の事業基盤確立 <ul style="list-style-type: none"> : 稼働数 目標の4,000名達成 (期初3,079名) : 単月営業利益 178百万円達成 (3月実績) • 環境変化による顧客ニーズの取り込み <ul style="list-style-type: none"> : 派遣法の改正 請負ニーズの取り込み : 半導体市況の回復 外部労働力ニーズの取り込み
財務内容	<ul style="list-style-type: none"> • 業績変動要因の排除 <ul style="list-style-type: none"> : エイペックス 連結から除外 (2011年3月期業績に影響なし) : 八徳への貸付 貸倒引当金の計上

2010年3月期の業績：セグメント別の前期比較

(単位：百万円)

	FY2010.3		前年比	FY2009.3	
	通 期	構成比		通 期	構成比
売上高	18,056	100.0%	44.4%	40,694	100.0%
アウトソーシング事業(日本エイム)	15,329	-	68.4%	22,410	-
製造装置事業(エイベックス)	1,975	-	24.2%	8,166	-
設計開発事業(アルティスタ)	750	-	73.4%	1,022	-
売上総利益	2,870	15.9%	42.8%	6,710	16.5%
販売費及び一般管理費	2,579	14.3%	52.5%	4,917	12.1%
営業利益	290	1.6%	16.2%	1,793	4.4%
アウトソーシング事業(日本エイム)	1,371	-	70.5%	1,944	-
製造装置事業(エイベックス)	△1,028	-	-	132	-
設計開発事業(アルティスタ)	29	-	31.2%	93	-
経常利益	182	1.0%	30.2%	603	1.5%
当期純利益	(注) △1,401	-	-	△10,861	-

(注) 貸倒引当金2,220百万円の計上。加えて、通常であればエイベックス・グループの損益はすべて含まない処理となるところ、エイベックス・グループが債務超過状態にあるため、エイベックス・グループの債務超過相当額を当期純利益に含めて計上を行っています。しかし、連結株主資本等変動計算書からは、債務超過相当額の負の影響を除外しており、連結貸借対照表の利益剰余金には影響しません。

※ FY2009.3の連結業績は、マイクロ技研の業績が含まれた数値です。

2010年3月期の業績：エイペックスを除く業績

(単位：百万円)

	FY2010.3	
	通 期	構成比
売上高	16,083	100.0%
アウトソーシング事業 (日本エイム)	15,329	-
設計開発事業 (アルティスタ)	750	-
売上総利益	3,067	19.1%
販売費及び一般管理費	1,903	11.8%
営業利益	1,163	7.2%
アウトソーシング事業 (日本エイム)	1,371	-
設計開発事業 (アルティスタ)	29	-
経常利益	1,004	6.2%
特別利益	7,414	-
特別損失	7,190	-
税金等調整前当期純利益	1,227	-
法人税、住民税及び事業税	230	-
法人税等調整額	△1,738	-
少数株主利益	10	-
当期純利益	2,745	17.1%

■エイペックス株式の全株譲渡
・譲渡日

2009年11月13日

・譲渡金額

2,300百万円

・譲渡先

株式会社八徳

※2011年3月期決算より

エイペックスの業績は当社

連結業績に含まれません。

第4四半期連結会計期間の業績：セグメント別の前期比較

(単位：百万円)

	FY2010.3		前年比	FY2009.3	
	4Q	構成比		4Q	構成比
売上高	5,394	100.0%	84.1%	6,412	100.0%
アウトソーシング事業(日本エイム)	4,117	-	111.2%	3,704	-
製造装置事業(エイベックス)	1,091	-	113.4%	962	-
設計開発事業(アルティスタ)	186	-	91.6%	203	-
売上総利益	798	14.8%	168.7%	473	7.4%
販売費及び一般管理費	798	14.8%	74.0%	1,079	16.8%
営業利益	0	-	-	△606	-
アウトソーシング事業(日本エイム)	401	-	422.1%	95	-
製造装置事業(エイベックス)	△408	-	-	△207	-
設計開発事業(アルティスタ)	△25	-	-	△1	-
経常利益	△2	-	-	△585	-
当期純利益	△4,369	-	-	△1,598	-

※ FY2009.3の連結業績は、ミクロ技研の業績が含まれた数値です。

貸倒引当金繰入額の計上

■ 八徳への貸付債権の内、2,220百万円を貸倒引当金に計上

【エイペックス株式譲渡】

2009年11月13日

- ・ 八徳へエイペックス株式譲渡（譲渡金額 2,300百万円）
- ・ 八徳へ2,250百万円貸付（エイペックス・エンジニアリング株式を担保）

【エイペックス民事再生手続開始の申立て】

2010年3月下旬

- ・ エイペックス民事再生手続開始の申立て
- ・ エイペックスを非連結化
 - 八徳への貸付に対し、エイペックス・エンジニアリングの担保権実行を検討

【貸倒引当金の計上】

2010年4月下旬

- ・ 監査法人より担保権実行が確実なことから、エイペックス・エンジニアリングへの支配が継続し、共通支配下の取引に該当
 - エイペックス・エンジニアリングを取得した場合にのれん計上されない

FY2010.3の特別利益・特別損失の主な内容

(単位：百万円)

	FY2010.3	
	通 期	内 容
売上高	18,056	-
営業利益	290	-
経常利益	182	-
特別利益	7,447	-
貸倒引当金戻入益	1,045	1Q 貸倒引当金の戻入れ
社債償却益	5,100	1Q 転換社債型新株予約権付社債の買入消却
子会社株式売却益	1,227	3Q エイベックス株式譲渡による売却益
特別損失	11,015	-
子会社株式売却損	363	1Q ミクロ技研の売却損
のれん償却	4,441	2Q エイベックスののれん償却
事業撤退損	658	3Q 共同販売事業の撤退 (エイベックス)
貸倒引当金繰入額	2,713	4Q 八徳への貸付
減損損失	330	4Q 土地・建物の減損 (エイベックス)
たな卸資産処分損	2,077	4Q 在庫処分 (エイベックス)
税引前当期純損失	△3,386	-
法人税等	229	-
法人税等調整額	1,017	-
少数株主損失	△1,196	-
税引後当期利益	△1,401	-

貸借対照表の推移

単位：百万円	2009年3月末	2010年3月末
流動資産	19,433	6,067
現金及び預金	4,634	3,538
売掛金	6,171	1,939
商品（在庫）	6,232	0
固定資産	11,437	3,822
有形固定資産	2,376	35
投資その他の資産	4,035	3,661
流動負債	20,802	7,287
短期借入金	12,868	5,262
固定負債	6,775	125
社債	6,300	0
純資産	3,308	2,480
少数株主持分	2,180	60
株主資本	1,084	2,425
総資産	30,886	9,893

在庫ゼロ

Net Debt 1,724百万円

社債の買入消却

自己資本比率 24.5%

エイペックスを連結から除外

2009年3月末：短期借入金12,868百万円 社債6,300百万円 合計19,168百万円

2010年3月末：短期借入金5,262百万円 社債0円 合計5,262百万円

2009年3月末：株主資本1,084百万円 2010年3月末：株主資本2,480百万円

→ 13,906百万円の減少

→ 1,396百万円の増加

合計15,302百万円

2010年3月期 連結業績予想との差異
■ 全社の連結業績予想の実績差異

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
		百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	前回発表	16,400	750	450	2,500	11,763.99
	今回実績	18,056	290	182	△1,401	△6,593.58
	差異	1,656	△460	△268	△3,901	-

■ 会社別の計画値と実績値の内訳

(単位：百万円)

	売上高		営業利益	
	当初計画値	実績値	当初計画値	実績値
	百万円	百万円	百万円	百万円
アウトソーシング事業（日本エイム）	11,130	15,329	600	1,371
製造装置事業（エイペックス）	4,610	1,975	400	△1,028
設計開発事業（アルティスタ）	660	750	15	29

2011年3月期 連結業績予想・配当予想
■ 2011年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,965	784	756	645	3,034.65
通 期	18,350	1,670	1,610	1,380	6,492.74

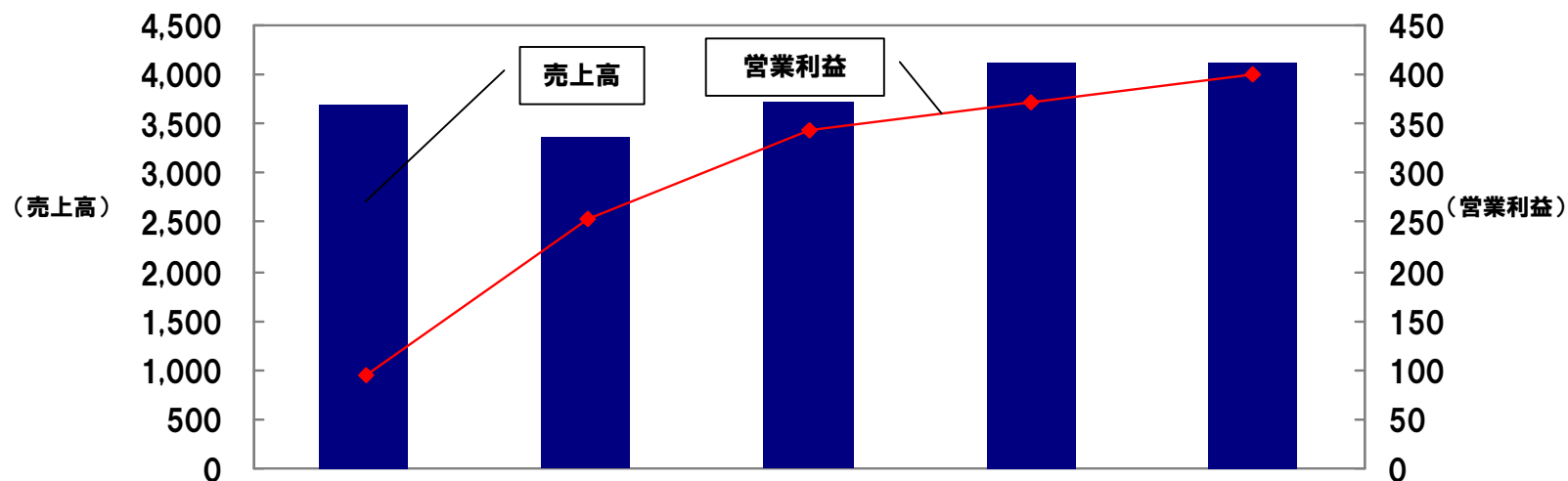
■ 2011年3月期 配当予想

1株当たり配当金					配当性向 (連結)
第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間	
-	-	-	2,400円	2,400円	37.0%

第4四半期のアウトソーシング事業（日本エイム）の業績①

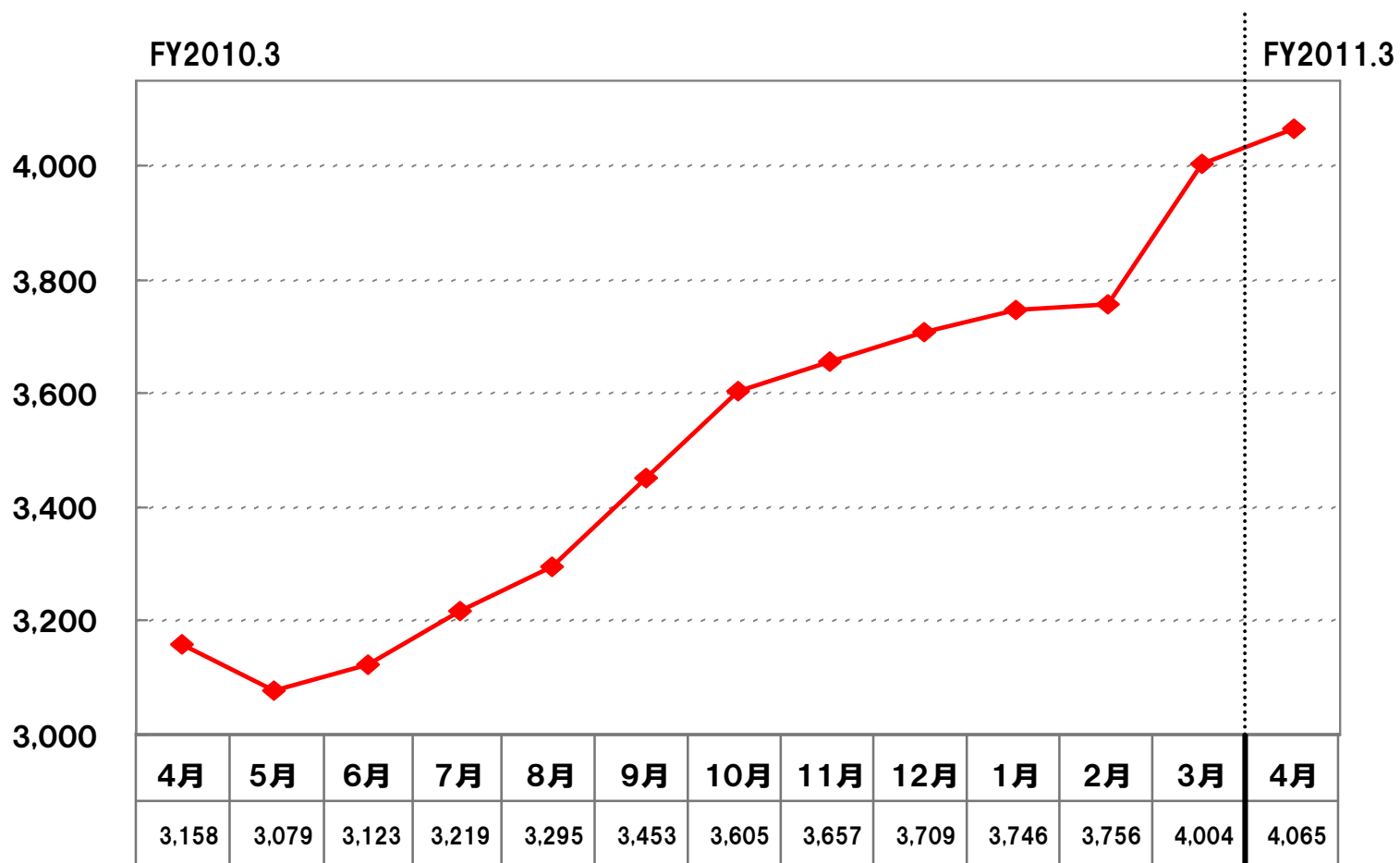
（単位：百万円）

	FY2009.3	FY2010.3			FY2010.3	前年比
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	3,704	3,369	3,717	4,126	4,117	111.2%
売上総利益	487	590	732	794	814	167.1%
売上総利益率	13.1%	17.5%	19.7%	19.3%	19.8%	-
販売費及び一般管理費	391	337	390	456	377	96.4%
販管費率	10.6%	10.0%	10.5%	11.1%	9.2%	-
営業利益	95	253	344	373	401	422.1%
営業利益率	2.6%	7.5%	9.2%	9.1%	9.7%	-



第4四半期のアウトソーシング事業（日本エイム）の業績②

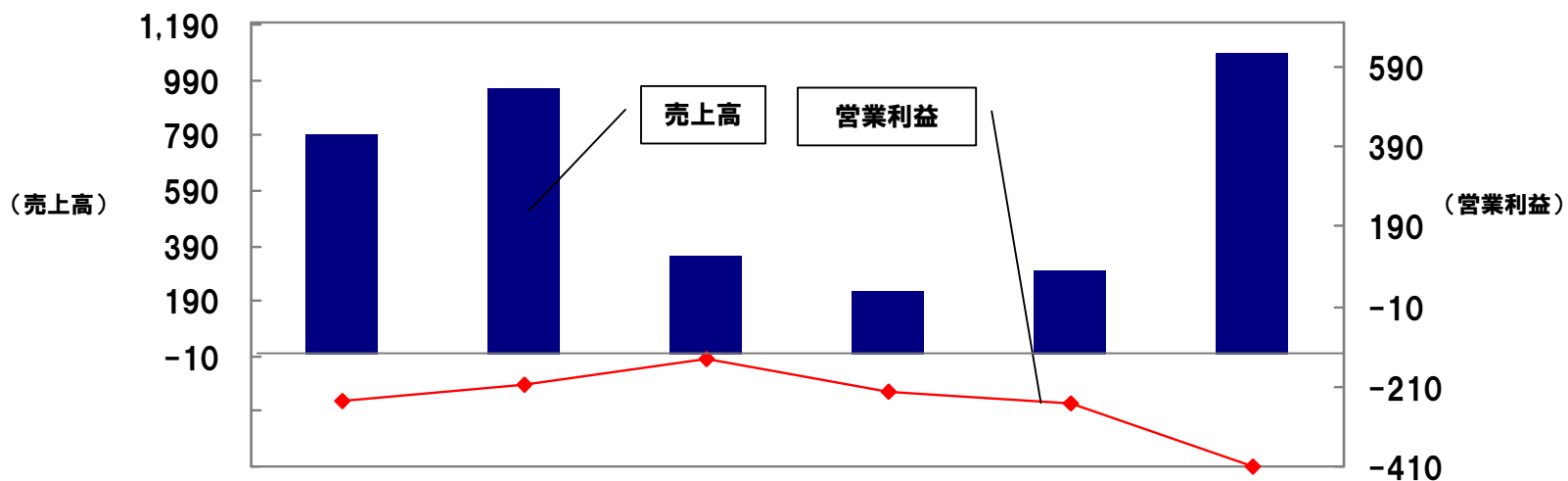
■ FY2010.3 稼働数推移



第4四半期の製造装置事業（エイペックス）の業績

（単位：百万円）

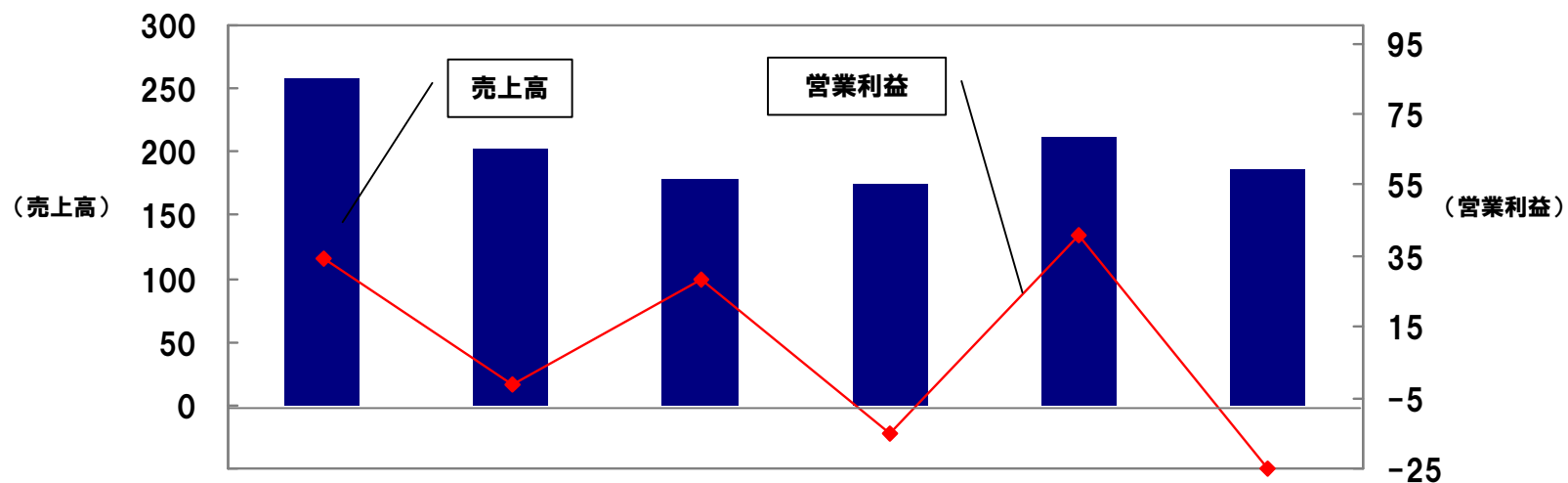
	FY2009.3	FY2010.3			FY2010.3	前年比
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	962	356	227	302	1,091	113.4%
売上総利益	94	9	△77	△117	△2	-
売上総利益率	9.8%	2.5%	-	-	-	-
販売費及び一般管理費	214	154	143	137	397	185.5%
販管费率	22.2%	43.2%	63.2%	45.3%	36.4%	-
営業利益	△207	△144	△221	△255	△408	-
営業利益率	-	-	-	-	-	-



第4四半期の設計開発事業（アルティスタ）の業績

（単位：百万円）

	FY2009.3	FY2010.3			FY2010.3	前年比
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	203	178	174	212	186	91.6%
売上総利益	28	53	22	65	△5	-
売上総利益率	13.8%	29.7%	12.4%	30.9%	-	-
販売費及び一般管理費	29	25	36	24	20	69.0%
販管費率	14.3%	14.0%	20.9%	11.7%	10.8%	-
営業利益	△1	28	△15	40	△25	-
営業利益率	-	15.7%	-	19.2%	-	-



Section 1

派遣法改正の動向

Section 2

UTグループの概要

Section 3

Growth 2012

派遣法改正の動向

■ 派遣法改正案

3月19日に労働者派遣法の改正案を閣議決定 ⇒ 今国会へ

【主要改正点】

- ① 登録型派遣の原則禁止（専門26業務、産前産後代替要員などを除く）
- ② **製造業派遣の原則禁止（常用雇用の労働者派遣を除く）**
- ③ 日雇派遣、2か月以下の労働者派遣を禁止（政令で定める例外業務を除く）
- ④ グループ企業内派遣会社の同グループ内派遣人員の割合を8割以下
- ⑤ 違法派遣の場合に適用する「みなし規定」を新設
- ⑥ 派遣料金におけるマージン率等の情報公開を義務化
- ⑦ **施行日は公布の日から6カ月以内とするが、前記①②は3年以内の政令で定める日、また、登録型派遣の一部業務については、さらに2年間の猶予期間を設ける**

■ 当社への影響

請負への移行は、ほぼ完了済み。

もともと常用雇用の割合が高い当社においては、製造派遣において、常用雇用化が推進されても影響は少ない。

会社案内

商号： UTホールディングス株式会社

設立： 2007年4月2日

資本金： 20億円

上場証券取引所： ジャスダック証券取引所（証券コード：2146）

役員構成： 代表取締役社長兼CEO 若山 陽一
取締役 加藤 慎一郎 取締役 島田 恭介
取締役 猪俣 慎二
常勤監査役 大籠 清
社外監査役 本郷 孔洋 社外監査役 水上 博和

所在地： 東京都品川区東五反田1-11-15 電波ビル4階

事業領域： アウトソーシング事業・製造装置移設事業・設計開発事業

主要顧客： ・パナソニックグループ ・シャープグループ
・ソニーグループ ・セイコーエプソングループ
・ロームグループ ・旭化成グループ
・東芝グループ ・三菱電機グループ
・ルネサスエレクトロニクスグループ

UTグループの事業

■ アウトソーシング事業

半導体・FPD分野の最先端のものづくり現場で培ったノウハウを活かし、製造業務を一括して請け負っています。各工程の製造オペレーションから、装置メンテナンスや保全業務の一括受託まで行い、各工程の生産能力を把握し、それに基づいた作業改善を提案するなど付加価値の高いサービスを提供しています。

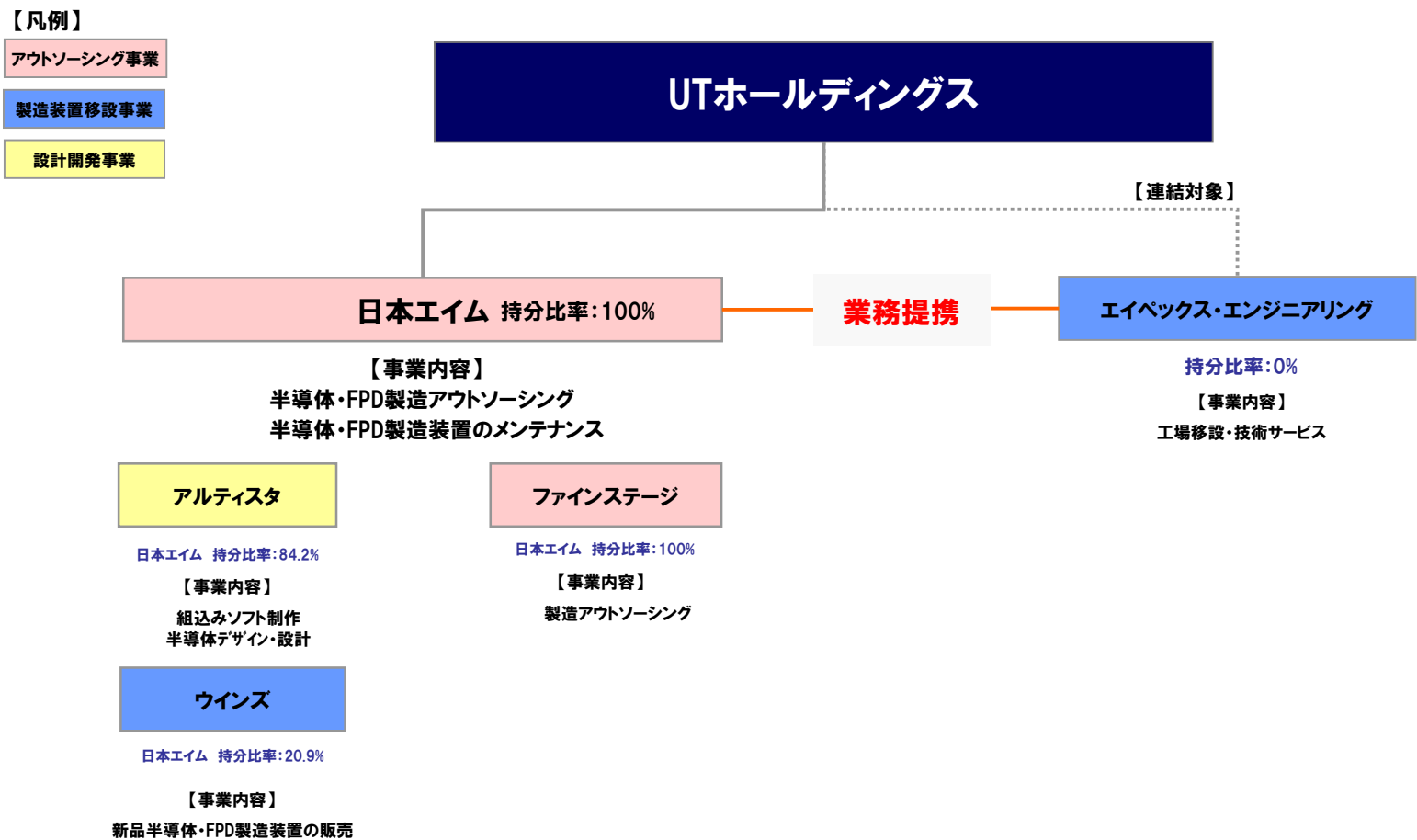
■ 製造装置移設事業

半導体・FPDの製造ラインの一括移設サービスをエイペックス・エンジニアリングとの業務提携により行っています。国内外の工場から装置を一括して移設するサービスを中心に、装置立上げ、リファービッシュ（改修）などUTグループしか提案できない高度な技術サービスを提供しています。

■ 設計開発事業

LSIなど半導体デバイスの設計・デザイン請負や設計エンジニアの派遣のほか、組込みソフトウェアの受託開発を行っています。半導体・FPD生産に関する幅広い経験とノウハウを活かして、製造プロセス及びそのコストを視野に入れた設計を実践しています。

UTグループ構成図



Growth 2012 P/L

(単位：億円)

セグメント	分野／サービス	FY2011.3		FY2012.3	
連結売上高		224.4	100.0%	293.1	100.0%
アウトソーシング	半導体分野	156.7	-	166.4	-
	成長4分野	29.1	-	61.0	-
	設計開発分野	8.0	-	9.3	-
ソリューション	インハウスソリューション	28.6	-	51.4	-
	アセットライトソリューション	2.0	-	5.0	-
連結営業利益		20.3	9.0%	30.2	10.3%
アウトソーシング	半導体分野	14.2	-	16.1	-
	成長4分野	1.5	-	4.0	-
	設計開発分野	0.7	-	1.0	-
ソリューション	インハウスソリューション	1.9	-	4.1	-
	アセットライトソリューション	2.0	-	5.0	-
連結経常利益		19.1	8.5%	29.0	9.9%
連結当期純利益		16.3	7.3%	24.8	8.5%

※ 連結当期純利益は、繰越欠損金による当期控除額を当社の想定により算出しております。

コミットメント

EPS成長率 30%以上
配当性向 30%以上

【補足説明】**・EPS成長率**

1株当たりの成長性を測る指標。 今期EPS/前期EPSで求める。

EPSは、1株に対して当期利益（税引後当期利益）がいくらあるかを表す。
式)「EPS＝当期利益（税引後当期利益）÷発行済み株式数」

・配当性向

配当の原資となる税引後当期利益に対する配当金の比率を表す。

Technology & Teamwork

この配付資料に記載されている業績目標等は、いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。